

白銅杓一柄加盤、料白銅大十兩、炭四斛、油一合、信濃布一丈、長功十人、中功十二人、短功十四人、

〔延喜式木工三十四〕神事并年料供御

杓、長功六柄、中功四柄、短功二柄、

〔延喜式內藏十五〕諸國年料供進

大。匏。卅口遠江國卅口、常陸國十口、

〔延喜式民部二十三〕交易雜器

山城國略○中 匏三百卅柄略○中 大和國略○中 瓠三百廿五柄略○中 河內國略○中 匏二百廿五柄略○中 和泉

國略○中 匏一百五柄略○中 攝津國略○中 匏一百七十五柄、

〔延喜式大膳十三〕輿籠八十脚、匏六十柄、杓卅柄略○中

右職家料

〔延喜式內膳十九〕年料略○中

匏一百九十柄汲雜物汁料

〔雍州府志土產六〕壺盧略○中 老硬者作杓、輕快堪用、倭俗謂杓杓瓢、

〔雍州府志土產七〕竹屋略○中 柄。杓。汲。湯。之。具。也。竹筒存節二寸許、切之橫貫竹。柄。以。之。杓。湯。并。水。檜。杉。柄。

杓檜物屋造之、

〔寶藏四〕柄杓

大津坂本の勸進聖は、腰にさして都若衆の衣の袖をひかへ、赤坂の城の知謀の士は、塀に振て關東勢の鎧の妻を焦せりとや、戀路はむつかしく軍法は罪ふかし、これ我ねがふ所にあらず、冬ごもりする雪の中に、爐のほとり近くよりて、ぬるくもあつくも、うすくもこくも、心に隨ひ手に任せて、ふりたて、のめるこそ、めさむる心ちすれ、又くらしかねたる夏の日に、下部におほせて、庭